

第98回理事会を開催

平成18年3月24日、社団法人電池工業会第98回理事会が機械振興会館で開催された。第1号議案から第6号議案までが審議され、提出された6議案はすべて可決承認された。

石田徹会長（松下電池工業株式会社社長）が議長となり、第1号議案から第6号議案までを審議し、報告事項の確認承認を行なった。

(1) 第1号議案 平成17年度事業報告の件

平成17年度の活動結果について、一次電池部会報告、小形二次電池部会報告、二次電池部会報告、広報総合委員会報告、蓄電池設備の認定・講習事業報告、総務報告の順で行なわれ、報告事項はすべて可決承認された。

(2) 第2号議案 平成17年度収支見通し報告の件

収入の部については、予算額3億8,975万円に対し、決算見通し額3億9,191万円となり、216万円の増収となる。

支出の部については、予算額2億7,501万円に対し、決算見通し額2億6,905万円となる。

この結果、当期収支差額はマイナス596万円、前期繰越収支差額と合わせて次期繰越収支差額は1億2,286万円となる旨の報告があり可決承認された。

(3) 第3号議案 平成18年度事業計画の件

平成18年度の活動計画について、一次電池部会報告、小形二次電池部会報告、二次電池部会報告、広報総合委員会報告、蓄電池設備の認定・講習事業報告の順で行なわれ、報告事項はすべて可決承認された。



(4) 第4号議案 平成18年度予算の件

収入の部については、当期収入2億8,402万円、前期繰越収支差額1億2,286万円、合計4億688万円、支出の部については、当期支出2億8,390万円、次期繰越収支差額1億2,299万円と見込んだ旨の説明があり可決承認された。

(5) 第5号議案 役員及び事務局長選任の件

理事、副会長、常務理事および事務局長選任のための議案説明があり、審議結果次の通り可決承認された。

理事	日立マクセル株式会社 (任期：平成18年4月1日～平成19年5月総会日)	代表執行役社長	角田義人氏
副会長	東芝電池株式会社 (任期：平成18年4月1日～平成19年5月総会日)	取締役社長	大内秀夫氏
常務理事 (非常勤)	日立マクセル株式会社 (任期：平成18年4月1日～平成19年5月総会日)	代表執行役社長	角田義人氏
事務局長 (職員)	ソニー（株）出身		和仁義明氏

(6) 第6号議案 最優秀バッテリー賞に関する件

事務局からの配布資料に基づき事務局原案の説明がなされ、審議の結果社会貢献性が高い事務局原案第1案の「表彰式・野球教室実施」が可決承認された。

(7) 報告事項

1. 会員代表者の交替

会員代表者の交替について下記の説明がなされ、確認された。

(正会員代表者の交替)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
日立マクセル株式会社	角田義人	赤井紀男	平成18年4月1日

(賛助会員代表者の交替)

会員名	新会員代表者	旧会員代表者	変更年月日
ボッシュ株式会社	オラフ・ヘニング	フランク・シュレフナー	平成17年8月31日
山田電器工業株式会社	山田耕次郎	山田一也	平成17年11月28日
中国興業株式会社	佐々木哲夫	松本克己	平成18年2月15日
株式会社デンソー	山田学	伊藤昇平	平成18年2月28日
株式会社LG化学	松本和順	梁智勲	平成18年3月1日

2. 年間行事と主要会議

平成18年度の年間行事予定と主要会議予定について説明が行なわれ、原案どおり確認された。

(主な行事予定)

月日	曜日	行事及び会議	備考
5月12日	金	第99回理事会	平成17年度決算報告
5月12日, 13日	金、土	第34回通常総会	平成17年度事業報告、平成18年度事業計画
9月8日, 9日	金、土	正賛合同会議	
11月11日	土	でんちフェスタ	於：日本科学未来館
12月9日	土	2006プロ野球最優秀バッテリー賞表彰式	於：有明コロシアム
1月12日	金	平成18年度優良従業員表彰式	
1月12日	金	平成19年新年賀詞交歓会	
3月23日	金	第100回理事会	平成18年度事業報告、平成19年度事業計画

カーバッテリー(始動用鉛蓄電池)

今回からはバッテリー(蓄電池)についてお話しします。

バッテリーは、その用途に応じて自動車用、据置用、電動船用、特殊用途などに分けることができ、電池の構成も用途に合わせた作り方がされています。

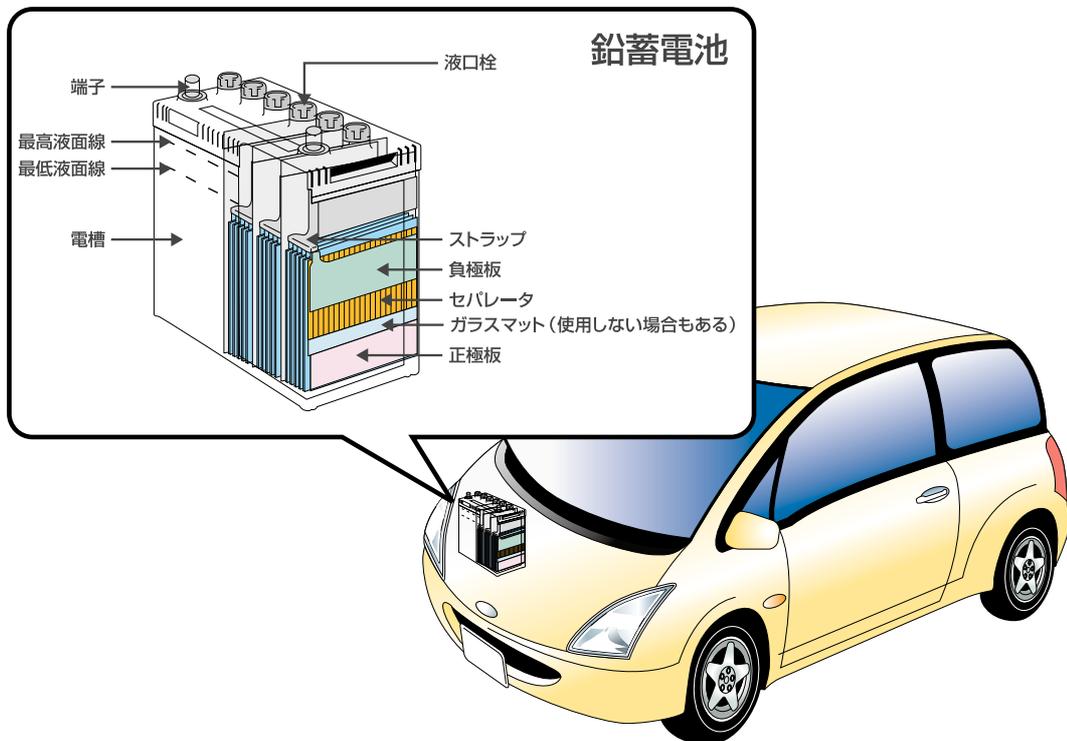
カーバッテリー(始動用鉛蓄電池)の重要な役割は、エンジン始動時のスタータに電力を供給することにあります。また自動車走行時は、バッテリーは発電機によって充電されるシステムになっています。

単セルの構成は、鉛合金製格子に鉛粉や酸化鉛を希硫酸で練ったペーストを塗って作製した正極板および負極板、その間に機械的強度があり酸に

も強い合成樹脂セパレータ(ガラスマットを併用することもある)を挟み込んだ形で構成されます。これを希硫酸溶液の電解液に浸すことで単セルが構成されます。単セルは充電することで約2Vを示します。自動車用のカーバッテリーはこの単セルを6個直列に接続することで12Vとして通常使用されています。

また、使用済みのバッテリーは、バッテリーには希硫酸が入っているので決められた方法で廃棄することが必要です。使用後は放棄しないで販売店などにご相談ください。使用済みのバッテリーは、回収・解体・分別されて、主にバッテリーの原料、材料等にリサイクルされ、資源が有効活用されています。

製品外観



製品の特徴

1. 2V単電池が6個直列に接続された、公称電圧12Vの鉛蓄電池です。
2. 自動車などのエンジン始動時に必要な瞬間的な電力を供給できる構造設計が特徴です。
3. 自動車等の発電装置で常時充電されながら、ライトやエアコンなどの電気負荷に電力を供給するシステムとして使用されます。深い放電と充電をくり返す用途には適していません。
4. 安全に取り扱っていただくための情報が、ラベルで表示されています。
5. 使用中に電解液が減ることがあります。液面点検が可能なものは、必要に応じて補水してください。
6. 製品に関する規格：日本工業規格 JIS D 5301 始動用鉛蓄電池

カーバッテリー(始動用鉛蓄電池)

カーバッテリー形式の読み方

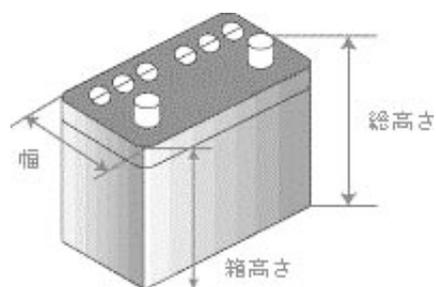
カーバッテリーには形式が上面に表示されています。それによって性能やサイズなどを見分け、適合車種を選択します。

1. 性能ランク (単位なし)

バッテリーの総合性能(始動性能・容量)を表します。数値が大きいほど性能がよくなります。(50未満=2刻み、50以上=5刻みの表示になっています。)

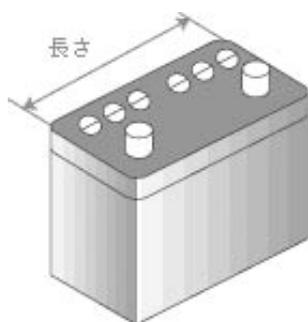
2. バッテリーの短側面のサイズ (JIS規格で幅×箱高さの区分が決まっています。)

記号：A→Hの順に大きくなる (単位：mm)



3. バッテリーの長さ寸法 (約cm)

バッテリーの長さの概寸法 (約cm) を表します。(例：55B24Rでは約24cm)



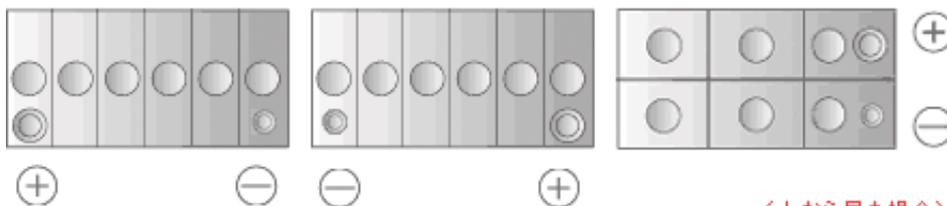
4. +、-端子の極性位置 (約cm)

+、-端子の極性位置を示しています (R.L.記号なし)

Rタイプ

Lタイプ

記号なし

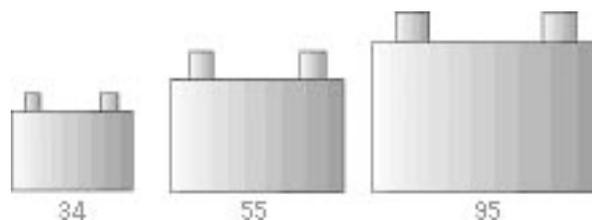


(上から見た場合)

●JIS形式の場合

55 B 24 R

1 2 3 4



記号	幅	箱高さ
A	127	162
B	129(127)	203
D	173	204
E	176	213
F	182	213
G	222	213
H	278	220

平成18年4月度の電池工業会活動概要

部会	開催日	委員会・会議	主な審議、決定事項
特別会議他	14日(金)	新種電池委員会	新種電池委員会定款審議, 平成18年度活動審議
	18日(火)	広報委員会	最優秀バッテリー賞の検討
	21日(金)	広報委員会	「消防展」出展
	25日(金)	JEA蓄電池設備認定委員会幹事会	蓄電池設備資格審査5件、型式認定34件を審議し、合格判定
二次電池部会	5日(水)	小形鉛分科会	SBA規格審議、IEC文書回答審議他
	6日(木)	EV鉛分科会	SBA図書改正審議他
	10日(月)	直需分科会	自動車用電池リサイクル・スキームの検討
	11日(火)	自動車用鉛分科会	SBA規格審議、IEC文書回答審議他
	12日(水)	電動車用鉛分科会	SBA規格改正審議、IEC文書回答審議他
	14日(金)	用語分科会	SBA規格改正審議、新JIS対応指針の審議他
	14日(金)	需要予測委員会	実績集計
	17日(月)	電気車統計分科会	統計数値の確認
	18日(火)	資材委員会	共同金型等効率的運用の検討
	19日(水)	据置鉛分科会	SBA規格改正審議、原子力設備改正案審議他
	20日(木)	産業用電池リサイクル委員会	産業用電池リサイクルスキームの検討
	20日(木)	電気車用電池リサイクル分科会	電気車用電池リサイクルスキームの検討
	24日(月)	産業電池技術サービス分科会	蓄電池設備の部品交換に関する調査報告書原案審議、蓄電池設備の劣化診断指針(SBAG0606)の見直し案の審議、他
	25日(火)	産業用電池統計分科会	統計数値の確認
	28日(金)	充電器分科会	浮動充電用整流装置の保守・取扱いに関する技術指針(SBAG0901)の改定審議、浮動充電用整流装置の安全指針(SBAG0902)の改定審議、他
	小形二次電池部会	14日(金)	再資源化委員会
20日(木)		ニカド・ニッケル水素技術分科会	市販用Ni-MHSBA規格, 海外安全規格審議
20日(木)		JEITA知財会議(模倣品対策)	第2回日中知財会議を受け今後の対応検討
21日(金)		Li二次技術分科会	海外安全規格審議, 海外携帯電話用電池規格審議
21日(金)		PL委員会	今期計画の具体化と特定電池充電器対応の結論付け
24日(月)		海外環境対応委員会	EU電池指令最新情報紹介及び中国Rohs内容調査の進め方討議
25日(火)		JMC海外貿易環境規制対応会議	機械輸出組合主催による定例会議, 海外環境規制のUpDate
26日(水)		業務委員会	3月度販売状況の検討及び動態確認、海外生産分の確認
一次電池部会	11日(火)	Li-WG	TC35ストックホルム会議事前審議, 時計用Li二次規格審議
	12日(水)	JIS/IEC小委員会	TC35ストックホルム会議事前審議, 保存後容量規格審議
	14日(金)	家電公取協広告委員会	北九州エコタウン見学
	17日(月)	資材委員会	中国電池市場および電池メーカー調査
	18日(火)	JMOSS分科会	GREEN表示の覚書案取りまとめ

水とアルミニウムを水素発生源とした燃料電池を開発

～10ワット級の燃料電池をモバイル電源で実証～

日立マクセル株式会社

日立マクセル株式会社（執行役社長：角田 義人）は、水とアルミニウムとの反応による水素発生システムを確立し、このシステムを水素発生源とした燃料電池を開発いたしました。さらにこの燃料電池を使用した10ワット（W）級モバイル電源の開発に成功し、ノートPCを動作させることができました。

■主な特長

1. 水とアルミニウムを水素発生源とした10W級のモバイル電源を開発

水とアルミニウムとの反応による水素発生システムを確立し、このシステムを水素発生源とした固体高分子形燃料電池を開発しました。今回、この電池を用いて、10W級のモバイル電源を実証いたしました。アルミニウムカートリッジと水カートリッジを交換することでノートPCや非常用電源などを長時間稼働できます。

2. 独自製法のアルミニウム微粒子により、室温で理論限界に近い大量の水素を発生

独自製法のアルミニウム微粒子化プロセス技術の開発に成功しました。このアルミニウム微粒子に水を加えることにより、室温で1グラムのアルミニウムから1.3リットルという理論限界に近い大量の水素発生が可能となりました。

3. 出力280mW/cm²と、直接メタノール形燃料電池の5倍（当社比）を達成

マクセルのコア技術である「分散・塗布技術」の活用により、室温で280mW/cm²と世界最高レベルの出力密度を得ました。この出力は、直接メタノール形燃料電池の5倍（当社比）となります。



■主な仕様

名称	固体高分子形燃料電池（PEFC）
出力	平均10W 最大20W
電圧	7.4V
外形	160 x 100 x 60mm（960cc）
重量	920g

【報道機関お問い合わせ先】 日立マクセル株式会社 法務・広報部 広報・IRグループ 山下
〒102-8521 東京都千代田区飯田橋2-18-2 TEL:03-3515-8283 FAX:03-3515-8316

2月度電池および器具販売実績（経済産業省機械統計）

（2006年2月）

単位：数量、千個、金額、百万円

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
電池・器具総合計	478,978	57,132	105%	106%	916,702	111,127	103%	104%
全電池合計	478,517	56,375	105%	106%	915,597	109,380	103%	104%
一次電池計	338,029	10,582	102%	101%	644,472	19,634	100%	100%
マンガン乾電池	49,445	737	87%	78%	101,783	1,511	85%	78%
アルカリ乾電池計	88,784	4,239	94%	88%	167,052	7,722	99%	90%
単 三	49,470	2,025	89%	87%	94,604	3,791	100%	95%
単 四	24,045	954	106%	90%	46,716	1,834	106%	92%
その他	15,269	1,260	93%	86%	25,732	2,097	85%	79%
酸化銀電池	71,717	788	97%	99%	136,152	1,511	90%	94%
リチウム電池	107,755	3,801	116%	117%	202,717	7,053	110%	111%
その他の乾電池	20,328	1,017	171%	153%	36,768	1,837	183%	175%
二次電池計	140,488	45,793	113%	108%	271,125	89,746	112%	105%
鉛電池計	2,991	1,088	95%	103%	6,198	22,980	96%	98%
自動車用	2,036	5,561	101%	98%	4,319	12,870	103%	101%
二輪用	309	638	102%	102%	652	1,325	103%	102%
小形制御弁式	402	858	68%	115%	775	1,601	65%	114%
その他	244	4,031	98%	109%	452	7,184	98%	91%
アルカリ電池計	50,272	10,097	88%	106%	97,499	19,206	87%	102%
完全密閉式	26,699	3,337	83%	95%	51,843	6,468	85%	93%
ニッケル水素	23,558	6,314	94%	110%	45,633	12,117	91%	106%
その他のアルカリ電池	15	446	115%	176%	23	621	92%	135%
リチウムイオン電池	87,225	24,608	136%	111%	167,428	47,560	135%	111%
器具計（自主統計）	461	757	72%	86%	1,105	1,747	72%	87%
携帯電灯	217	221	53%	71%	595	574	61%	80%
電池器具	244	536	106%	94%	510	1,173	92%	92%

2月度電池輸出入実績（財務省貿易統計）

（2006年2月）

単位：数量、千個、金額、百万円（少数以下四捨五入の為、合計が合わないことがあります）

	単 月				1月～当月累計			
	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比	数量	金額	数量 前年比	金額 前年比
全電池合計（輸 出）	276,459	29,898	105%	124%	504,995	55,576	99%	116%
一次電池計	135,596	2,636	89%	112%	249,098	4,851	86%	109%
マンガン	39,239	489	105%	147%	77,610	942	107%	142%
アルカリ	18,909	317	102%	113%	31,367	525	82%	92%
酸化銀	35,220	431	82%	98%	60,957	765	80%	97%
リチウム	40,747	1,355	80%	110%	76,184	2,549	78%	109%
空気亜鉛	1,289	24	91%	98%	2,686	46	66%	65%
その他の一次	193	20	45%	68%	294	24	48%	58%
二次電池計	140,863	27,262	126%	125%	255,897	50,725	114%	117%
鉛蓄電池	516	589	145%	102%	924	1,032	158%	98%
ニカド	22,279	2,451	77%	99%	42,495	4,500	77%	93%
ニッケル鉄	2	3	—	—	2	3	—	—
ニッケル水素	7,581	1,953	51%	81%	16,091	3,845	50%	80%
リチウムイオン	80,141	18,704	151%	132%	145,495	34,798	137%	123%
その他の二次	30,344	3,563	217%	171%	50,890	6,547	172%	154%
全電池合計（輸 入）	51,997	5,329	84%	92%	130,577	12,599	93%	99%
一次電池計	45,414	925	85%	85%	114,293	2,275	93%	84%
マンガン	11,506	155	75%	95%	29,668	384	78%	92%
アルカリ	25,357	362	87%	75%	69,043	976	106%	89%
酸化銀	48	2	17%	29%	545	14	99%	112%
リチウム	6,970	287	220%	140%	12,127	609	192%	110%
空気亜鉛	857	31	74%	95%	1,491	52	52%	72%
その他の一次	677	88	15%	45%	1,420	240	15%	44%
二次電池計	6,582	4,404	83%	94%	16,284	10,324	91%	103%
鉛蓄電池	647	1,599	106%	109%	1,617	3,741	131%	122%
ニカド	837	290	49%	95%	2,821	655	60%	85%
ニッケル鉄	14	31	—	—	39	55	153%	108%
その他の二次	5,084	2,484	91%	85%	11,807	5,872	98%	96%